

重点目標と具体的な手立て

1. 生徒が安全に安心してすごせる学校生活

- ①「授業づくり」「学級づくり」の中での自己有用感・自己達成感の醸成
- ②きめ細やかな生徒指導
→厳しくもあたたかい対応、公平・公正な指導、居心地の良い場所づくり
- ③安全教育・防災教育（避難訓練・防災訓練等）の推進
- ④いじめ防止対策の推進
→起こってしまったら迅速な対応
- ⑤生徒一人一人の教育的ニーズに合わせた指導
→不登校はどの子にも起こりうる
- ⑥施設・設備の安全点検の充実
→破損箇所等生徒にとって危険なことは見逃さない
- ⑦教育相談体制の充実
→担任が中心でなく全員体制
- ⑧あいさつ運動も含めたあいさつの推進
→教職員側から積極的にあいさつしよう。その時はもう一言添えて
- ⑨いろいろなことにチャレンジできる環境づくり

2. インクルーシブ教育の実践

- ①生徒たちの多様なあり方をお互いに認め合う教育活動の一層の充実
- ②支援教育の充実
→生徒の教育的ニーズにみあった対応と合理的配慮
- ③授業や教室環境のユニバーサルデザイン化
- ④SSW・SC・心の相談員・ふれあい補助員と特別支援コーディネーターとの連携・指導方針の決定及び定期的な特別支援会議の開催
- ⑤関係機関との密接な連携

3. 豊かな人間性の育成

- ①全ての教育活動の中での取組
- ②清掃活動の充実→見つけ掃除の励行
- ③「特別の教科 道徳」への取組
→「考える道徳」「議論する道徳」の推進、自尊感情を育む授業
- ④いじめをしない、させない、許さないの徹底
- ⑤体験活動の充実（部活動、自然体験、社会体験、ボランティア活動など）
- ⑥思いやりのある生徒、自分で考えて行動できる生徒、目標に向かって努力できる生徒の育成
- ⑦間違ってしまったことを素直に認められる生徒の育成

4. 「チーム北陽中」として組織的な対応

- ①学年・学校全体で対応していく体制づくり
→1人で抱え込まない
- ②全国学力・学習状況調査や学校評価の調査結果の分析・共有
→客観的な生徒の実態把握とその対応
- ③不測の事態が発生しても適切かつ迅速に対応できる組織体制づくり
- ④あたたかい雰囲気のある職員室づくり
- ⑤若手教員の人材育成→あたたかい目で見守り育成していく

5. 保護者・地域とともに育てる生徒

- ①保護者・地域がいつでも学校の様子を知ることができる環境づくり
→教職員による直接の声掛け、〇〇便り、学校ホームページ、掲示板での伝達
- ②学校にかかわっている保護者・地域との積極的な協働
- ③生徒の地域行事への積極的な参加体制の確立
- ④小学校との連携と共有
→小学校の学校教育目標の理解
- ⑤コミュニティスクール（学校運営協議会制度）における地域との連携

6. 授業の「学び」を未来に活かす生徒

- ①教師が平時より授業を見合う環境づくり
- ②すべての教師が目的意識をもった校内研究への取組と授業力向上に向けての強い意識
 - やらされてる感のない取組
- ③カリキュラム・マネジメントの実践
- ④言語活動の充実
- ⑤基礎的・基本的な知識および技能の習得
- ⑥家庭学習の推進